

富任荘新聞

第21号
令和元年8月発行

施設行事

6月 音楽祭



7月 夏祭り



さくらユニットのスタッフで音楽祭を開催しました。体を動かしたり、出し物を見たり、参加もしたり。皆さんの笑顔が見れた時間でした。

当日は不手際なところもありましたが、ご協力ありがとうございました。お陰様で無事、大成功となりました。



＼真剣な表情！がんばれ～！／

いちにっ！いちにっ！



二人羽織や出店、見て楽しめ、食べて楽しめる祭りになった事と思います。来年もお楽しみに～！！



鼓笛隊登場

懐かしいひげダンス♪

◇基本理念◇ 「全人的なケアとサポートの実践」

特別養護老人ホーム富任荘を運営している「社会福祉法人 水の木会」は、母体の下関病院を運営している「医療法人 水の木会」に準じて基本理念を制定しています。医療と介護で若干のアプローチが違う点と、基本理念や基本方針は第三者には分かりにくい点もあるため、2018年4月に行動指針を制定しました。

◇行動指針◇

- 1、私たちは、利用者ひとりひとりの尊厳を大切に敬意をもって接します。
- 2、私たちは、利用者ひとりひとりに明るく快適な生活の場を提供します。
- 3、私たちは、利用者ひとりひとりと地域や家庭との結びつきを大切にします。
- 4、私たちは、利用者ひとりひとりを思い常に研鑽を積みます。

基本理念を具現化するための、また目の前のことにつまずいた時やどうしたらよいか迷ったときに、職員が一丸となって「全人的なケア」を実践するための指針です。

※「全人的なケアとサポート」とは

「疾患や要介護状態の程度に限定せず、ご本人やご家族の思いや生活歴なども含めた、幅広い視点からの個々人にあった総合的な介護と支援。」と考えています。

職員研修会

富任荘では毎月3回程度の職員研修を行っています。その中で6月に開催した「おむつ研修」と「吊り上げ式リフト研修」の様子をご紹介します！！

おむつ研修では利用者様に快適に過ごしていただきたく、スタッフの表情も真剣です。紙パンツを不快なく穿く方法など…講師の方が自ら紙パンツを穿きポイントを教えてくださいました。当初1時間の予定がスタッフからのケア方法の悩みや質問も多く、30分延長しての勉強会となりました。これで少しでも利用者の皆さんが気持ちよく過ごせたらいいな…

続いて吊り上げ式リフトの研修です！これは専用のシートを体の下に敷きリフトで吊り上げて、車いすやベットへ移すという福祉用具です。これだけを聞くと「え？人を吊り上げる…？」と思われるかもしれませんが、しかし、通常私たちが抱きかかえて移乗をする行為は、時には利用者様に不安や緊張感を与えてしまっていることもあるそうです。そのことによる筋緊張から拘縮につながることも！？もちろん、私たち介護者の腰痛リスクも。これからは利用者様・介護する側にも負担や不安のない環境作りが大切だと勉強になりました。もちろん、乗り心地はGood!揺りかごに乗っているような感じでした。



職員紹介

山本美香（介護支援専門員 兼 准看護師）



施設での勤務は初めてです。不慣れな点多いかと思いますが精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

師井 真由美（介護福祉士）

4月より勤務させていただいております。入居者様の気持ちになり取り組みます。よろしくお願いいたします。



花村 かおり（介護福祉士）



6月より入職しました。入居者の皆様に安心して過ごしていただけるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

編集長のつぶやき

暑い夏がやって来ました。富任荘の駐車場横の庭の向日葵もずいぶん大きくなりました。皆様に夏を感じていただけたらと思っています。

今年は春から富任荘の庭に少しずつ花を植えています。仕事の合間を見て、ちよつとずつ手入れをしているため、残念ながら「花いっぱい」にはなかなかありません…。雑草に紛れて咲く、まるで野の花のような花たちをちょっと気にして眺めていただけたらと思います。



